

2020年01月22日

## 【格付変更】

## トヨタ自動車

発行体格付： AA+ → AAA [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付を公表しました。

## 【格付理由】

販売台数で世界トップクラスの自動車メーカー。広範な商品群とグローバルな生産体制・販売力を備える。生産効率や技術力・開発力にも優れ、非常に強固な収益基盤を持つ。

自動車業界は先進技術の進展から構造変化に直面している。トヨタ自動車は開発・生産の効率化や商品力強化の取り組みが成果を上げて、収益基盤の一層の強化と収益力の底堅さにつなげている。業界の内外で仲間づくりも進めている。財務基盤は極めて強固だ。これらが将来の構造変化に対する備えとなろう。トヨタの信用力は非常に高く、R&Iの格付体系において最上級に位置付けられると判断し、発行体格付をAAAに格上げした。格付の方向性は安定的。

需要の低迷に加え、環境規制や先進技術への対応費用から、多くの自動車メーカーで収益性の低下が目立つ。こうした厳しい環境下でも、トヨタは高水準かつ安定した利益・キャッシュフローを確保している。もともと現場重視のモノづくり力が優れるうえ、開発・生産の構造改革であるTNGA (Toyota New Global Architecture) の効果が表れている。主力車種をTNGAモデルに順次切り替えており、コスト低減だけでなく、基本性能の向上を通じて商品力や販売面にも寄与している。

2019年に自動車の世界需要は縮小したが、トヨタの販売は堅調だった。米国では事業環境が厳しいものの、高い市場地位を維持しながら収益性が回復してきた。世界最大の中国市場は、需要が一旦減退する中で販売台数とシェアを伸ばしている。これからは環境規制の厳格化への対応が重要になる。トヨタにとってハイブリッド車で培った電動技術と実績・規模が強みになる。2020年から本格化する電気自動車 (EV) の商品展開にも生かしていける。

電動化に加え、自動運転やコネクテッド、モビリティサービスといった先進技術の発展により、業界構造が変化しつつある。新たな技術領域もあり先行投資の負担は重い。トヨタは仲間づくりも活用して開発協力や技術普及に取り組む。他の自動車メーカーと資本業務提携を広げており、他業界とも先進技術を中心に連携を強化している。

米中の貿易摩擦や中東事情など世界情勢の行方は見通しにくい。景気動向に伴う収益変動はあっても、トヨタでは無理な規模追求をしていない分、収益力に底堅さがある。TNGAモデルの拡充は販売促進費と値引きの抑制にも寄与している。自動車事業はネットキャッシュにかなり厚みがある。金融事業は資産の質が良好で、十分な流動性を確保する。全体として高い収益力・キャッシュフロー創出力を背景に強固な財務基盤を維持できよう。

トヨタはモノづくりを継続しながら、モビリティに関するサービスを提供していく会社への変革を標榜している。自動車の製造・販売という既存のビジネスモデルに磨きをかけながら、業界構造の変革を見据えて様々な手立てを講じている。将来的に産業リスクが変化する中でも確固たる競争優位を築ける中長期の時間軸で確認していく。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273  
株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 【格付対象】

発行者：トヨタ自動車(証券コード：7203)

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA+ → AAA	安定的

名称	発行予定額 (億円)	発行予定期間	予備格付
発行登録(社債)	2,000	2018年04月08日～2020年04月07日	AA+ → AAA

名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第14回無担保社債	200	2013年06月06日	2023年03月20日	AA+ → AAA
第15回無担保社債	200	2014年06月05日	2021年06月18日	AA+ → AAA
第16回無担保社債	200	2014年06月05日	2024年03月19日	AA+ → AAA
第17回無担保社債	400	2016年06月03日	2026年06月03日	AA+ → AAA
第18回無担保社債	200	2016年06月03日	2036年06月03日	AA+ → AAA
第19回無担保社債	300	2017年06月02日	2020年06月02日	AA+ → AAA
第20回無担保社債	300	2017年06月02日	2022年06月02日	AA+ → AAA
第21回無担保社債	300	2017年06月02日	2027年06月02日	AA+ → AAA
第22回無担保社債	100	2017年06月02日	2037年06月02日	AA+ → AAA
第23回無担保社債	300	2019年05月24日	2024年05月24日	AA+ → AAA
第24回無担保社債	200	2019年05月24日	2029年05月24日	AA+ → AAA

☆ 予備格付は、個別債務の最終的な条件が決定されていない段階で予備的な信用格付が必要となる場合に、付与する評価です。個別債務の最終的な契約内容等によっては、予備格付とは異なる信用格付が付されることがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp  
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 **格付投資情報センター** 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	永井 荘一郎
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2020年01月17日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018.05.31] 乗用車 [2019.04.26]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html</a>	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html</a>	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html</a>	
格付関係者	トヨタ自動車
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置 情報提供者	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。 格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471  
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。